

議事録

名 称	令和7年度宮崎県蚊媒介感染症対策会議
日 時	令和8年2月9日（月）午後4時から午後5時まで
場 所	県庁防災庁舎2階プレスルーム
会 議 の 内 容	
議 題	協議又は決定事項
開会挨拶	
委員長選任	<ul style="list-style-type: none">委員の改選に伴い、事務局より峰松委員を推薦。委員一同の賛成により、峰松委員が委員長に再任された。
蚊媒介感染症の概要について	<ul style="list-style-type: none">デング熱、ジカウイルス、チクングニア、日本脳炎等の疾患概要を共有。基本的な対策は「蚊に刺されないこと」が重要であり、対症療法が中心となる。今年度は全国的にチクングニア熱が増加傾向にあり、県内でも国外感染と推定されるデング熱が2件報告された。
令和7年度蚊媒介感染症対策の実績について	<ul style="list-style-type: none">高千穂神社、神柱公園、宮崎市中央公園の3地点で、6月～9月の期間、月1回の定点モニタリングを実施。結果、いずれの地点でもウイルスは検出されなかった。国立感染症研究所の研修への参加や、保健所職員を対象とした採取方法等の実技研修を実施。ポスターやリーフレットの配布による県民への啓発を予定。
蚊のモニタリング調査結果について	<ul style="list-style-type: none">宮崎市中央公園は工事の影響でポイントを変更したが、環境変化（池の埋め立て等）により採集数が減少した。高千穂神社では蚊が多く捕獲されたが、ヒトスジシマカの割合は約50%であった。神柱公園と中央公園ではすべてヒトスジシマカであった。チクングニア熱について、冬場の平均気温が上がるとウイルスが越冬するリスクがあるため、近年の気温上昇には注意が必要。
令和8年度蚊媒介感染症対策案について	<ul style="list-style-type: none">定点モニタリング、研修、啓発活動を継続。宮崎市中央公園については、採集が困難なため令和8年度は一旦休止とし、令和9年度以降の対応を検討する。

